

日本福祉文化学会 中部東海ブロック通信 第8号

担当理事：〒425-0041 静岡県焼津市石津 751-1 平田 厚 Email: monogusa-tomy@theia.con.ne.jp

中部東海ブロック学会会員の皆様 ブロック内開催は、17年ぶりです。

「名古屋発、“福祉文化元年”を築く ～今こそ、人を育てる、アートを創る～」

を大会テーマに『第30回日本福祉文化学会全国大会東海大会』は、『第1回中部東海ブロック大会』として、実行委員会・事務局会議を積み重ね、いよいよ11月30日・12月1日 中京大学名古屋キャンパスで開催です。是非ご参加下さい。

いよいよ、中部東海ブロック（愛知県・静岡県・三重県・岐阜県・長野県）において、17年ぶりに「第30回日本福祉文化学会全国大会東海大会&第1回中部東海ブロック大会」が、あと1ヵ月後の11月30日（土）・12月1日（日）に愛知県名古屋市の中京大学名古屋キャンパスで開催されます。2月19日に準備委員会を立ち上げた後、実行委員会や、毎月事務局会議を積み重ね開催され、関係者は、意義ある大会開催実現に向けて精力的に取り組まれています。是非ご参加下さるよう改めてご案内申し上げます。

「平成時代の幕引きとともに、新元号“令和”の下、住民主体の地域社会再構築の必要性から、新しい福祉文化の風を吹き込む意味で、「福祉文化元年」と位置づけ、とりわけ、これから求められる人材養成のあり方や音楽、アクティビティなど、多世代の豊かな暮らしを創造するアートを考える機会としています。

記念すべき第30回全国大会・東海大会は、過去の振り返りに留まらず、これからは見据える未来志向型大会となっています。「名古屋発の福祉文化の創造」が花開き、福祉文化活動により、地域社会全体が活性化することを大いに期待しています。17年前、静岡県においては、日本福祉文化学会からの要請により取り組んだ「現場セミナー」（平成8（1996）年浜松市・浜松こども園・プレスタワー）、「掛川市・ねむの木学園現場セミナー」の開催等から、「第13回日本福祉文化学会静岡大会」開催を実現した経緯があります。ぜひ、名古屋に。

【1日目】11月30日（土） 【会場】 中京大学名古屋キャンパス 0号館（センタービル）6階

11:30	13:00	13:40	15:00	16:10	16:30	18:00	20:00
受付	開会 セレモニー 【0603 教室】	記念講演 (湯浅景元氏) 【0603 教室】	シンポジウム 【0603 教室】	休憩	交流分科会 (企画①～⑤) 【0604～0608】	懇親会 【0号館2階 「プレジール」】	
	ロビー企画展（パステルアート、陶芸体験コーナー） 【0号館6階ロビー】						

【2日目】12月1日（日） 【会場】 中京大学名古屋キャンパス 0号館（センタービル）6階

8:30	9:00	9:50	10:20	11:50	12:50	14:00	14:30	16:30
受付	学会 総会 【0603 教室】	移動・ 休憩	研究発表 ワークショ ップ 【0号館6 階小ラウン ジ】	昼食休憩 ランチコン サート お弁当販売 【大ラウン ジ】	市民公開講座 (宗次徳二 氏) 【0603 教室】	閉会 セレモニー 福祉文化実 践学会賞授 賞式 【0603 教室】	現場セミナー (1～5 コー ス) 【各会場】	
	ロビー企画展（パステルアート、陶芸体験コーナー） 【0号館6階ロビー】							

※現場セミナーが終了後、各セミナーごとに終了・解散。

●中部東海ブロック関連記録(08/17～10/18)

月/日	活 動 内 容
08/17	➢ 第 30 回日本福祉文化学会全国大会東海大会 第 2 回事務局会議開催
08/25	➢ ブック通信第 7 号発行, 会員及び関係方面に送付
09/10	➢ 学会「福祉文化研究」第 29 号 特集「ブロック活動」原稿執筆依頼の連絡あり
09/14	➢ 静岡県内関係者の会合にて、学会大会の開催と参加呼び掛け実施
09/30	➢ 焼津福祉文化共創研究会 9 月定例研究会において、再度学会大会の開催と経過報告・参加呼び掛け実施 ➢ 静岡県内大会実行委員関係者協議 (広報啓発・大会運営). (今年度は、大会実行委員会の静岡県内関係者は、毎月定期的意見交換を実施し、学会事務局の動きを共有)
10/07	➢ 第 30 回学会大会実行委員長から各理事宛連絡有 事前参加申し込み締め切り 10 月 24 日 (木) 17:00 未申込者への周知
10/10	➢ 学会事務局より各理事宛連絡有 「第 30 回学会大会全国大会東海大会」参加呼び掛けの依頼
10/13	➢ 静岡県内関係者及び近隣県(すでに大会の案内をした方々15 名中心に)に、再度、学会大会の案内等周知連絡をする
10/18	➢ ブック通信第 8 号発行し、「学会大会」参加呼び掛け中心に、会員及び関係方面に送付
10/19	➢ 焼津福祉文化共創研究会 10 月定例研究会において、再度学会大会の開催と経過報告・参加呼び掛け実施 ➢ 静岡県内大会実行委員関係者協議 (参加手続き確認・広報啓発・大会運営).
10/21	➢ 静岡県社協関係職員に、学会大会参加申し込み状況報告と近県社協関係者への呼び掛け要請
	* 11 月 2 日(土) 第 4 回学会大会実行委員会開催 (名古屋市内 中京大学名古屋キャンパス)
	* 11 月 30 日(土)～12 月 1 日 (日) 第 30 回学会全国大会東海大会開催

【地方発 福祉文化実践活動の取り組みから ーその 2ー】

「福祉コミュニティの再構築と子どもの福祉文化を創る」をテーマに、24 年目の活動に取り組んでいる「静岡福祉文化を考える会」では、23 年間の調査研究活動部門で、今回初めて「子ども」対象に「100 名の子どもたちに聞きました ホットする地域ですか」の意識と実態を把握するために、調査研究活動を実施し、このたび、回収作業が終わりました。この事業に対して、今年度「静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成事業」「あしたの日本を創る協会地域課題助成事業」から、の支援をいただいています。これから、「基本属性」「生活状況」「家族・家庭」「地域社会」「自由意見」の各項目を明らかにし、子どもを地域で育む地域環境改善はいかにあるべきか、子どもの意見を反映し、地域で総合的な課題解決にむけた提言の一助として集計・考察作業に入ります。当初「100 名に聞きました・・・」のタイトルでしたが、260 枚の調査票配布の回収結果は、256 枚 (98.5%)。そこで、報告書は、「256 名の子どもたちに聞きました・・・」でまとめていきます。

調査対象は、静岡県内の小学校の高学年 (4 年生～6 年生) で、調査方法は、会員、地域実践者、関係団体、企業等の協力により、夏休み期間中に実施。「基本属性」の概要を紹介すると、(1)県内 3 地域(東部・中部・西部)均等な回収状況 (2)性別では、女性 54%,男性 46% (3)学年別では、4 年生 40%,5 年生 35%,6 年生 24% (4)居住地域は、住宅地域 65%,農村地域 14%,商店街・山間地・海岸地域各 7% (5)家族構成は、祖父母等と同居 32%,親子のみ 67% (6)兄弟数は、二人 48%,三人 29%,四人・一人各 7% の回答状況です。2 3 の設問項目から回答をいただいています。

第 30 回学会大会の「実践発表」において、これまでの経過と概要を報告する予定です。